

1. 授業の概要(ねらい)

マス・ツーリズムの時代が到来して以来、観光現象は絶え間なく進化しながら「新たな観光」のあり方を提示してきました。本講義では、近年登場した新たな形態の観光現象の文化的意味を理解する上で重要な示唆を与える社会文化理論を解説していきます。そして、我々が生きる世界を的確に見つめる力を身につけるために、近づきやすい観光現象を事例として考察します。

2. 授業の到達目標

- ・現代社会における文化のあり方を把握するための理論的知識を習得すること
- ・事例研究を通して社会・文化現象としての観光の意義を把握すること
- ・「新たな観光」の登場が有する文化的意味を理解すること

3. 成績評価の方法および基準

平常点20%、グループ発表20%、期末試験60%を原則とします。
授業への積極的な参加は平常点として成績に反映されます。

4. 教科書・参考文献

参考文献

フーコー, M.(神谷美恵子訳) 1969、『臨床医学の誕生』 みすず書房
クーン, T.(中山茂訳) 1971、『科学革命の構造』 みすず書房
リッツァー, G.(正岡寛司訳) 2001、『マクドナルド化する社会』 早稲田大学出版部
アーリ, J.&ラーセン, J.(加太 宏邦訳) 2014、『観光のまなざし』 法政大学出版局

5. 準備学修の内容

可能であれば参考書の内容を事前に把握して授業に参加することを推奨します。
前回の講義内容は必ず復習してくる必要があります。

6. その他履修上の注意事項

観光社会学Iと観光社会学II両方の履修が望ましいです。
授業中の私語及び雑談は禁止とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション:「観光と文化」というテーマ
- 【第2回】 現代社会と観光—理論編①:科学革命と「パラダイム」の概念
- 【第3回】 現代社会と観光—事例編①:「新たな観光」のパラダイム
- 【第4回】 現代社会と観光—理論編②:「マクドナルド化」する現代社会
- 【第5回】 現代社会と観光—事例編②:現代観光からみる「マクドナルド化」
- 【第6回】 グループワーク:構想発表とディスカッション
- 【第7回】 観光のまなざし—理論編①:近代社会のまなざし
- 【第8回】 観光のまなざし—理論編②:観光まなざし論の意味
- 【第9回】 文化価値観と観光—理論編①:「芸術・文化システム」とは
- 【第10回】 文化価値観と観光—理論編②:ポピュラーカルチャー観光が意味すること
- 【第11回】 文化価値観と観光—事例編:「ロッキーステップ」のポストモダンティ
- 【第12回】 文化価値観と観光—事例編:嵩山少林寺の観光地化と映画『少林寺』
- 【第13回】 グループワーク:課題発表とディスカッション①
- 【第14回】 グループワーク:課題発表とディスカッション②
- 【第15回】 講義のまとめとテスト